

原水禁世界大会・三重県平和大行進ニュース 4号

2017.6.13(火)

○11日の行進 いなべ→東員 (桑員原水協・荒木藤治さんの報告)

いなべ・東員では50年間の空白がありました。しかし平和行進を望む市民は熱烈な声で結集し、成功させました。コープみえからの平和行進への参加は半世紀前にはなかったことです。沿道募金は11,368円。集会と行進への参加者は13団体73名でした。

○12日の行進 桑名→四日市 (同荒木さんの報告)

平日でしたが集まりがよく、みんな元気に行進。17団体45名が参加しました。朝日町では署名付き沿道チラシの事前配布をしておいたので、募金と併せて届けていただいた町民もありました。沿道募金は14,210円集まりました。二日間では25,578円にのぼり、うち16,625円が桑員の収入になります。

○桑員の自治体訪問

木曾岬長、菟野町(担当・三酒)などを訪問し、桑名市は出発式挨拶、朝日町では町長・議長以下議員さんたちが歓迎式を開いてくれました。総額で90,000円が協賛金として寄せられました。

○13日の行進 (報告・川北さんと田中の合作)

午後の四日市追分駅前で合流。鈴鹿市高岡公園→鈴鹿市役所までの約13キロ強を桑名・四日市・鈴鹿のみなさんと歩きました。宣伝カーの運転手は脊椎管狭窄症の手術から回復された辻井良和さん。県実行委員会の副委員長です。手際のいい案内ぶりで安心しました。

四日市医療生協のみなさんは嬉しいの赤のTシャツ、鈴鹿の新婦人のみなさんは帽子から身なりから日傘まで素敵で派手めのピース・ファッションでキメ、じつに華やか。建労や民商は若い方たちが多く平均年齢が下がり、元気の出る平和行進でした。

休憩地の施設、ジェフリー鈴鹿ではみんなが座れるようにと新婦人の方たちが部屋のしつらえを工夫し、冷たいものを用意してくれました。お茶、菓子、アイス等は建労が負担とのこと。鈴鹿実行委員会はチームワークがいい。

休憩後も人数が増え、市役所では45名が参加。市長のメッセージ、協賛金、ペナント、それに冷菓の接待がありました。各団体と個人参加の方からそれぞれ短いスピーチがあり、明日の鈴鹿からの行進も成功させようと決意し合いました。これから辺野古へ行く人もいました(三酒の責任者もいま辺野古に行っています)。

○県の事務所に署名付き沿道チラシが返ってきています。また、問い合わせの電話も二本ありました。暑いなかたいへんですが、できるだけがんばって配布するよう訴えてください。

○沿道に積極的に声をかけるとそれだけ反応が返ってきます。「平和を」も「核兵器なくそう」もほとんどの市民の支持を得られる国民的共同だからでしょう。

○明日は3コースが津市で合流します。 ◎日報と感想文、~~必ず~~志しに送って下さい。

2017年原水禁世界大会三重県実行委員会 Tel・Fax 059-228-5854